

マーケットの動き（2021年10月11日～10月15日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利はほぼ横ばいとなりました。週の前半は、米国金利が高水準で推移する中、国内金利も上昇余地を試す展開となりました。週の後半は、米国金利が低下に転じたことから国内金利も低下基調となり、前週末とほぼ同水準で週を終えました。クレジット市場は、投資家の利回り確保ニーズが需要を下支えしました。

投資環境見通し（2021年10月）

国内長期金利は低位で安定

国内長期金利は、日銀が現行の緩やかな金融政策を継続し、内需回復ペースは緩慢で低インフレ環境が続く中、当面は低位で安定した推移を予想しています。ただし、金融政策正常化に向けた動きで先行する海外長期金利の動向次第で変動率が高まる可能性があるかとみています。

	10月15日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.08	▲0.00	0.04	▲0.01	0.05
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	386.99	0.04%	▲0.32%	0.14%	0.01%

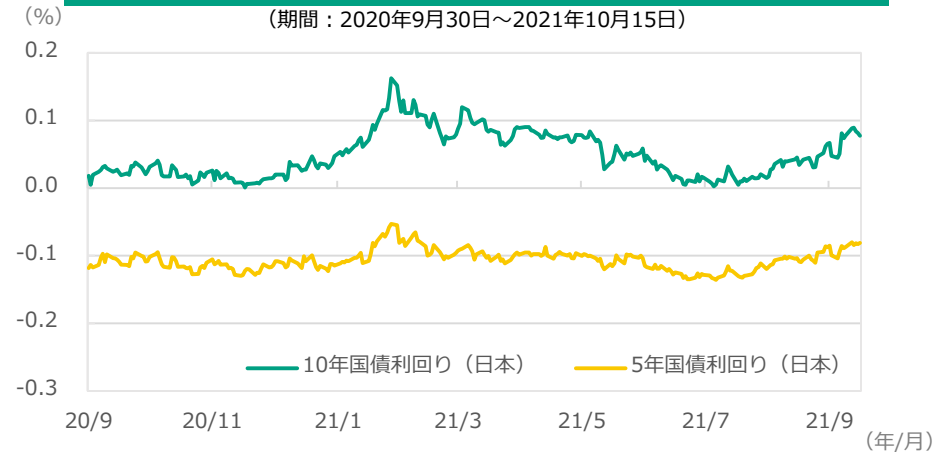
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202110_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移



NOMURA-BPI総合指数の推移

